

中部電気協会「特別功績者表彰」を受賞

5月26日静岡市内で開催された財団法人日本電気協会中部電気協会の表彰式において、当社エネルギー応用研究所 お客さま技術Gの宮田研究副主査と、お客さまネットワークGの上田研究副主査と石田主任の3名が特別功績者表彰を受賞しました。同賞は電気に関する有益な発明・考案、創意工夫の功績者に授与されるものです。

宮田研究副主査は水道直圧給湯方式エコキュート「ナイアガラ出湯」の開発が受賞対象で、こちらは従来のエコキュートに採用のタンク蓄熱湯の給湯方式に替えて、水道水を瞬時に加熱してそのまま給湯する新方式により、シャワー使用時の給湯圧力、流量の向上を実現。ガス給湯器からの取替市場の拡大が期待されています。(研究成果については、第61回全社技術研究発表会ステージ発表にて優秀賞を受賞)

一方、上田研究副主査と石田主任は工業炉用ガス発生装置向け「安心電源ユニット」の開発で受賞されました。

本装置は、工業炉で使用されている雰囲気ガス発生装置用の電源補償装置であり、瞬時電圧低下や停電による同装置の停止を高速切替により、無瞬断の電源供給を実現し、熱処理中の製品の不良や、大きな損害の発生を防ぐものです。また二次電池の種類を問わず、非常用発電機との連携が可能です。



受賞された宮田研究副主査



受賞された石田主任

博士号取得

電力技術研究所 エネルギー・環境グループの石川研究主査が、3月25日に名古屋大学から博士(工学)の学位を授与されました。

石川さんは、エネルギーチームリーダーとしての業務の傍ら、名古屋大学大学院工学研究科博士課程に入学し、電子情報システム専攻 鈴置保雄教授のご指導のもと、発電所やエネルギー輸送インフラ(送配電設備・ガス輸送設備)に分散型電源を加えたエネルギーシステム全体を、機器重量(設備量)とエネルギーフロー(効率・利用率)のトレードオフの観点から、産業連関表などを用い

て評価する方法の研究に取り組んできました。

石川さんは「社内外の多くの方々のご理解、ご配慮により学位が取得できました。この知見を業務に活かし、より優れたエネルギーシステムの開発に役立てたい」と語っています。



博士号を取得された石川研究主査

エネルギー応用研究所 志村研究主査が市民公開講座で講演

8月6日、名古屋大学にて、「電気でファッションブルライフ、あなたも今日からエコロジスト」と題して、市民公開講座が行われました。これは、一般市民の方に電気への理解を深めていただくことを目的に、名古屋大学エコトピア科学研究所が主催しているもので、平成18年10月の初回開催から数えて、今回で7回目となりました。

当社からは、エネルギー応用研究所 お客さま技術グループの志村研究主査が講師として招かれ、「新しい家庭電化の波」というテーマで講演いたしました。家庭電化の現状や低炭素社会の実現に向けた最近の社会の動

きを紹介するとともに、太陽光発電と二次電池を組み合わせた新しいオール電化住宅について説明しました。

講演終了後の質疑応答では、予定されていた時間を超えてしまうほど多くの質問があり、今回の講座も大変盛況なものとなりました。



志村研究主査の講演